



自立 共生 学び合い

# 新井中学校だより

新井中学校だより第2号

発行者 猪熊 士朗

発行日 令和5年10月6日



## 「校歌」

校長 猪熊 士朗

残暑もやっと落ち着き、秋らしくなってきました。新井中学校の生徒達は元気に学校生活を送っています。区内中学校はと言いますと、インフルエンザや新型コロナで学級閉鎖になっている学校もあるようです。いつ、その波が新井中学校に押し寄せてくるかもしれませんので、引き続き、警戒を緩めず、予防対策を行っていく必要があります。

早いもので、前期終業式となりました。式でも、やっと校歌を歌えるようになりました。校歌と言えば皆様にもっと早くお知らせしていればよかったと後悔していることがありまして、実は本校の校歌の作曲者である中田喜直先生の生誕百年を記念して、横浜市歴史博物館で特別展「生誕百年 中田喜直展」が行われていました。

企画展での紹介では、【中田喜直(なかだよしなお、1923～2000)は、「夏の思い出」「ちいさい秋みつけた」「雪のふるまちを」「めだかのがっこう」など、数々の名曲を生んだ作曲家です。30年もの長きにわたり横浜で暮らしたことをはじめ、フェリス女学院大学で教鞭をとったり、横浜市立学校の校歌を数多く作曲したりと、横浜にゆかりの深い人物でもあります。

今年、中田喜直は生誕100年を迎えます。本展ではこの年を記念し、中田の生涯、音楽、意外な人物像、そして横浜とのかかわりを紹介します。】と、書かれてあります。

校長室には、中田先生の直筆だと思われる楽譜があって、展示品として博物館に貸し出していました。その楽譜を借りに来た学芸員さんに聞いた話では、誰もが口ずさむ「めだかのがっこう」は中田先生が旭区在住の時に二俣川の大池公園の川を眺めながら曲のイメージを沸かせ、作られたそうです。

新井中学校の校歌は初代校長先生の 和多 史雄 先生が作詞、中田 喜直 先生が作曲をしてくださいました。新井中学校は令和9年に創立50周年になります。ずっと歌い続けられてきた校歌ですが、偉大な作曲家の手によって生み出されたものだと知り、あらためて大切に気持ちを込めて歌っていけるといいなと思います。そして、いつまでも新井中とともに後世に残せていけることを願っています。

### 10、11月の主な予定

- 10月10日(火) 後期始業式・認証式
- 10月16日(月)～20日(金) 学校を開く週間
- 10月20日(金) 第47回 文化祭
- 10月30日(月)～11月2日(木) 3年三者面談
- 10月31日(火) 2年職場体験

学校ホームページ QRコード

